

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習(専門) B		HSP43-003	選択	2	4	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
間嶋 健		B312	ken.majima		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的> ソーシャルワーカーとしての実践力を涵養するため、ソーシャルワーク実践における基本的な対人援助技術や方法、対象者理解等について、視聴覚教材や演習を通して学ぶ。そして、ソーシャルワークの理論・価値を実際の現場で具体化していくための知識や技術を習得することを目的とする。</p> <p><概要> 講義はテキストの事例、創作事例等をもとに個人ワークとグループワークを中心にして進めていく。グループで事例や課題等を検討し、課題ごとに発表、全体共有を行うことで気づきの共有を図る。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	自分が感じたことを言葉で表現し伝え合うことで相互に学び合うことを目指している。そのため、主体的・能動的に授業に臨む姿勢が求められる。					
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座7 ソーシャルワーク演習 [精神専門] /編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版					
参考書	特になし					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	対人援助職に必要な様々な援助実践モデルやアプローチ、課題、対象者を想定し理解できる。				HSU(1)、(2)、WP(1)、(2)	
②	さまざまな援助実践モデルやアプローチについて基本的な実践を行うことができる。				HSU(5)、WP(3)、(5)	
③	自分が感じたことを言葉で表現し伝え合うことで相互に学び合うことができる。				HSU(4)、WP(4)、(6)	
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	授業オリエンテーション、授業概要や学習方法を確認する。	講義	今回の内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
2	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】ICFモデルについてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
3	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】精神保健領域を取り巻く社会資源についてグループワークを行う①	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
4	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】精神保健領域を取り巻く社会資源についてグループワークを行う②	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
5	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】チームアプローチについてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
6	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】ケアマネジメントについてグループワークを行う①	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
7	【実践モデルやアプローチにかかわる技術】ケアマネジメントについてグループワークを行う②	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
8	【支援課題を基盤とした演習】地域移行支援・地域定着支援・居住支援についてグループワークを行う①	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
9	【支援課題を基盤とした演習】地域移行支援・地域定着支援・居住支援についてグループワークを行う②	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
10	【支援課題を基盤とした演習】権利擁護についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
11	【対象者別に見た演習】認知症高齢者についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
12	【対象者別に見た演習】就労支援・生活支援についてグループワークを行う。	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
13	【対象者別に見た演習】当事者支援についてグループワークを行う①	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
14	【対象者別に見た演習】当事者支援についてグループワークを行う②	講義・演習 グループワーク	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4
15	【総括】全体を振り返ってのまとめを行う。	講義	前回までの内容を教科書や授業内容を基に復習する。			4

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	10	0	90	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	15	15
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	10	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	15	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	20	25
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						授業の中で講評及び解説を行う。
	②						
	③	✓	演習、グループワークの報告、発表時の姿勢や内容等により教員が評価。				
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓					授業の中で講評及び解説を行う。
	②	✓					
	③	✓	毎回の演習授業の際に、達成度評価の指標に合わせた評価票を学生毎に作成し、教員が評価。				
	④		演習時の取組みの姿勢やコミュニケーションの様子、リアクションペーパー等により教員が評価。				
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	なし。						
実践的授業の内容	現場で出会うことが予想される対象者や場面を想定しながら授業を行う。実際の支援場面を取り入れながら、教科書で示される演習事例とあわせて学習していく。						
そ の 他	1) 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 2) 今後の感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。 3) 「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。 4) 精神保健福祉士国家資格取得希望者は必須科目につき必ず履修すること。 5) 原則として遅刻欠席は認めない。やむを得ず遅刻や欠席をする場合は、必ず所定の手続きを踏むこと。 6) 生成 AI の使用/不使用について、課題に応じて随時教員から指示する。						